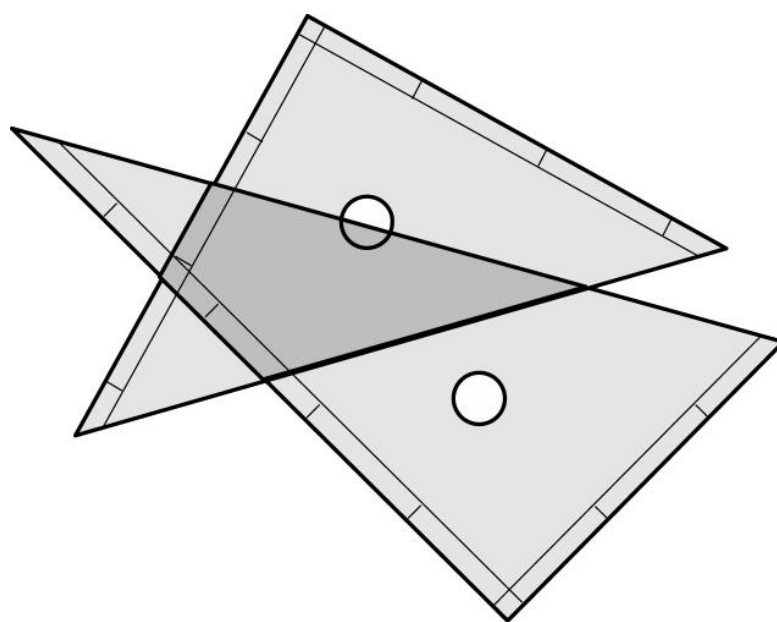


令和8年度

川越市立福原中学校

学校経営方針



校長 矢部智史

1 学校教育目標
知・徳・体のバランスの取れた人間性豊かな生徒の育成

2 目指す姿

◇目指す学校像

- 生徒が笑顔で登校し、意欲をもって学校生活を送れる学校
- 一人一人の良さや可能性を確実に伸ばす学校

◇目指す生徒像

- 自ら学び、自ら考え、自ら行動する生徒
- 思いやりのある生徒
- 志を立て、心身を鍛え、やり遂げる力を持った、たくましい生徒
- 自校を愛し、郷土を愛し、その発展に尽くす生徒

きらり！福原っ子！

【4つの伝統】「あいさつ」「歌声」「清掃」「ボランティア」

◇目指す教職員像

- 豊かな人間性と深い専門性を備えた教職員
- 子どもの気持ちに寄り添い、よさを認め、伸ばす教職員
- 強い使命感をもち、高い志と情熱のある教職員

3 今年度の重点

主体的に考え、正しく判断し、責任を持って行動する生徒の育成

4 学校経営方針

全教職員の「誠意」「創造」「熱意」による学校経営



保護者・地域の方から信頼される活力ある学校を親身になって創り上げる

－ 3つの喜び－

- ・教育活動を創造する喜び (教職員)
- ・一人一人が認められ、学ぶ喜びを実感できる喜び (生徒)
- ・さすがは我が母校 (学校) と感謝される喜び (保護者や地域の方)

(1) 教育内容の充実

① 知・徳・体のバランスある成長

具体策

- 自己有用感に基づく学習意欲の向上

- 学年・学級経営の充実と学力の定着
- 積極的な生徒指導・教育相談の充実
- 「授業規律を高める教師心得」の徹底
- 日々の学習指導と家庭学習の充実（chromebook の活用）
- 生徒の自主的・自律的な力を育てる学校行事の創造
→生徒の力を最大限に伸ばす
- 道徳教育と学校体育の充実

② 教育課程の確実な実施

具体策

- 「生きる力」の理念を具体化するための教育課程の編成・実施
- 「主体的・対話的で深い学び」のための指導方法の改善
- 川越市小中学生学力向上プランに基づく「川越授業スタンダード」のさらなる深化
- 学校行事検討委員会等を活用した教育課程の量的管理
- 学習指導要領を踏まえた授業の構築
- GIGA スクール構想に基づく授業の工夫改善
- 今日的な教育課題への取組

③ 教育活動の工夫・充実

具体策

- 「特別の教科道徳」実施（量、質の維持と評価）
- 特別支援教育並びに交流教育の充実
- 心の教育の充実（いのちの出前講座の実施）
- 人権教育の充実
- 食に関する指導の充実
- 進路指導・キャリア教育の充実
- 情報教育（情報モラル）の充実
- ボランティア・福祉教育の充実
- 薬物乱用防止教育、非行防止教室、性に関する指導、がん教育等の充実
- ICT を活用した教育の充実
- 読書活動の充実

（2）学校の組織力の向上

① 全職員が健康で向上心に溢れる集団づくり

具体策

- 健康の自己管理

○人事評価制度の積極的な活用

○川越市立教育センターの開設する開講講座の受講

② 情報共有・共通理解の下で総力を結集できる学校

具体策

○報告・連絡・相談・見届けの徹底

○生徒の範となる教育的実践、調和と社会性の実現

(3) 社会に開かれた教育課程の実現（コミュニティ・スクール）

① 保護者、地域の方々等から信頼される学校づくり

具体策

○誠実且つ迅速な対応

○学校評価制度の積極的な推進

○PTA 活動への積極的な参加

○学校の教育活動の公開

○各種たよりやホームページによる積極的な情報発信

② 地域の教育力及び学校運営協議会制度の整備・活用

具体策

○地域と学校とをつなぐコーディネーターの擁立

○地域人材の有効活用

○地域行事への参加・貢献

○自治会長・民生委員児童委員との連携

○小中連携の推進

(4) 安心・安全な学校づくり

① 学校内外の安心・安全の確保

具体策

○通学路等の安全点検の確実な実施

○施設・設備の安全点検の確実な実施と迅速な修繕

○学校を磨き、心を育てる清掃活動の推進

○言語環境の整備

○事故対応マニュアルの徹底・活用（福原中に特化したマニュアルの周知）、避難体制の構築

○災害時教職員動員基準の作成及び防災委員会等の設置、活動内容の周知

○緊急地震速報が発令された場合等における引き渡し等、具体的事象を想定した避難訓練の実施、防災意識の向上

○校内への不審者侵入時等に備えた教職員の防犯実技研修の実施

○食物アレルギーやAED使用への共通認識及び研修の充実

② 健康教育の充実

具体策

- 保護者等と連携した保健教育と保健管理の推進
- 家庭・地域社会との連携による食育の充実

5 学校における働き方改革基本方針

(1) 目的

働き方の改革の推進によって、子供たちへのより良い教育を実現する

(2) 目指す教職員の働き方

一人ひとりが働きやすく、「働きがい」のある職場を目指す

- 効率的・効果的な業務の実現
- 多様なワークライフスタイルの実現
- 未来の自分への投資時間の確保の実現

(3) 目標

- ①時間外在校等時間・・・月45時間以内、年360時間以内の教員数の割合を令和10年度末までに100%にする
- ②ウェルビーイング・・・「働きやすい」「働きがいがある」職場環境の確立
(年休取得率、働き方に関する肯定的意識7割)

(4) 具現化に向けた取組

- ①「ノー残業デー」「ふれあいデー」「ノー部活動デー」等の設定
- ②計画年休を含む年休取得の奨励
- ③「川越市立中学校の部活動の在り方に関する方針」の厳守
- ④地域人材の活用
- ⑤学校運営協議会の活用